



本マニュアルは未使用の装置を新規に取り付ける場合を想定しております。 その他の場合はV1000,3000,5000 取扱説明書(以下、取説)を参照願います。 ソフトウェア バージョンは1.3.3(以下、SW Ver.1.3.3)に準拠してます。SW バージョンはWEB GUIの Dashboardの画面に表示されます。

本マニュアルの概要ですがV5000にはSector1とSector2の二つのアンテナが内蔵されており、それぞれのアンテナを使ってV1000のSlave1, Slave2と対向させ、最後にSector2の周波数を変更する手順となっております。

SW Ver.1.3.3の取説はRFD-22MA00007-002.1 第2.1版を参照願います。

RFD-22MA0006-02.1

第2.1版



改版履歴

	日時	記事
初版(第1.0版)	2023/5/16	SW Ver. 1.2.1適用
第2.0版	2024/6/4	SW Ver. 1.2.2.1を適用する事により P17 Step3.9の作業を追加
第2.1版	2024/09/26	SW Ver. 1.3.3適用



PCで以下の8ステップでMaster(Sector1)-Slave1の画面登録、確認を行います。

- P5 機器接続 Master, Slave1の電源ON
- P6 Ping 連続打ちの設定
- P7~12 Step1. E2EでMaster局の局名等を登録
- P13~15 Step2. Config.>Nodes>Networking"でMaster局のIP addressを変更
- P16~17 Step3. Config>NetworkでJapanを選択,CN Channel Re-scanをDisableに設定
- P18~21 Step4. Config>Nodes>RadioでMaster局のGPS同期を無効に設定,Masterの緯度経度をc
- P22~24 Step5. Topology>SitesでSlave1のSite登録
- P25~27 Step6. Topology>NodesでSlave1のNode登録
- P28~34 Step7. Topology>LinksでMaster(Sector1)-Slave1のLink登録、Link確立を確認
- P35 Step8. Config>Nodes>Networking でSlave1局のIP address等を設定

注: V5000はPMP(Point to Multipoint)用の機種なので, SW Ver.1.3.3 でのV1000/V3000のようなQuick PTP(Point to Point)setupの機能はありません。本SWの下ではStep3.9でCN Channel Re-scanをDisable にする作業を追加しております。

対向局とはSWのVersionを揃えて下さい。異なると正常動作しません。



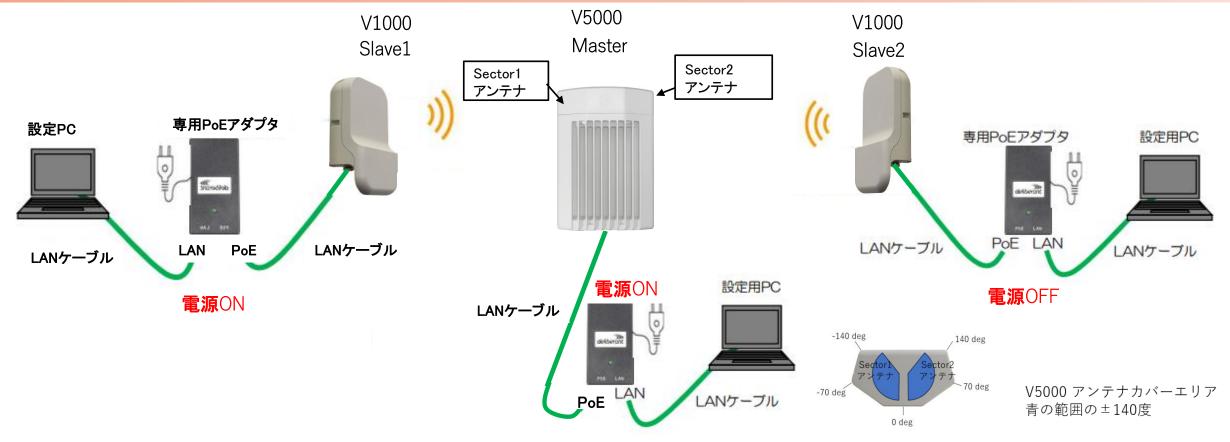
PCで以下の5ステップのMaster(Sector2)-Slave2の画面登録、確認を行います。

```
P36
       機器7接続 Slave2の電源ON
P37~39
       Step10. Topology>Sites でSlave2を登録
P40~42 Step11. Topology>NodesでSlave2を登録
P43~47
       Step12. Topology>LinksでMaster(Sector2)-Slave2のLinkを登録、Link確立を確認
       Step13. Master局のConfig>Nodes> Networking でSlave2のIP address等を設定
P48
       Step14. 無線CH2→CH4へ変更できる事を確認
P49~51
         ご注意 電源OFF/ONは10秒待ってから/Masterからの設定が優先
P52
P53~54 補足1 Link接続しない時
P55~56 補足2 Master局、Slave局の見分け方
       補足3 GPS信号を受信している場合の表示
P57
P58~59 補足4 Dashboard上の地図表示
```

- ・現場での切り分けを明確にするため、机上で無線Linkの確立を確認してから実際の設置場所に設置する事を推奨致します。
- 設置方法はV1000,V3000,V5000取説を参照願います。

機器接続





MasterとSlaveの設定は後ほどWEB GUIで行います。無線機の電源投入はLANケーブル接続後PoEの電源を投入して下さい。SlaveはFactory Resetで初期化しておいて下さい。初期値以外が設定されているとLINK確立しない場合があります。

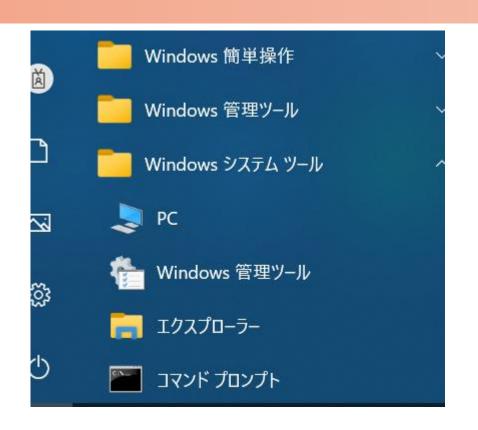
先ずMasterとSlave1の両方の電源を入れて下さい。Slave2 は後ほど電源を投入致します。MasterとSlaveは向い合せに置き1m以上離して下さい。

本マニュアルではV5000をGPS信号を受信しない屋内で一旦Link接続を確認した後に、屋外に設置する前提で進めてます。

GPS無効の設定を行いますが、無効の設定前にGPS信号を受けてしまうと緯度経度が本マニュアルと異なる表示になることがありますがLink接続には影響しません。尚、GPS信号を受けるとDashboardに表示されます。補足3参照。

はじめに: Pingを連続打ちモードにしておくことをお薦めします。





```
C:\text{\text{$\text{$\text{$WINDOWS\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$$}}}$} 169.254.1.1 -t}}} 169.254.1.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64 169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
```

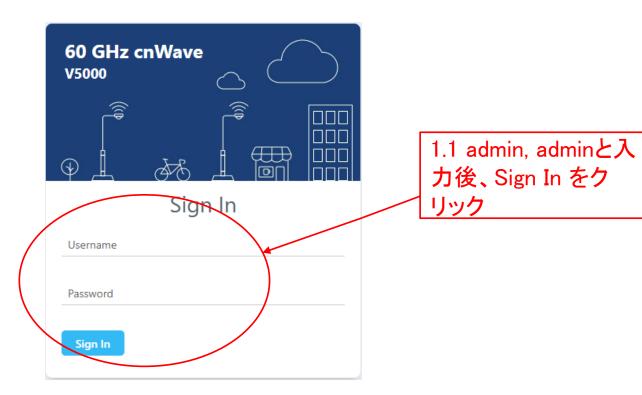
- 1.PCのコマンドプロンプトを起動します。Windows10ならWindowsシステムツールの配下にあります。
- 2. ping [169.254.1.1] -t と入力しEnter Keyを押すと、ping連続打ちモードが開始します。 [はブランクを意味します。
- 3. 疎通が成功すれば上右図の応答メッセージが現れます。

Step1(1) E2E でMaster局を登録



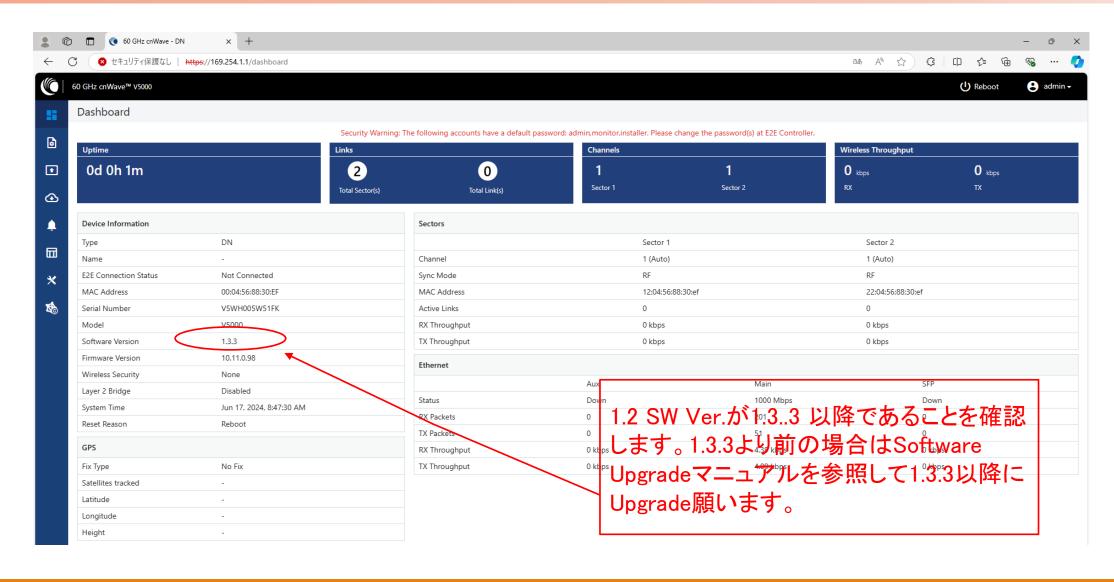
PCでブラウザを起動し<u>URL:http://169.254.1.1</u> ヘアクセス、 約2分でMaster局のLogin画面が現れます。 https://169.254.1.1 は使用しないで下さい。

Username, Passwordをadmin, admin でログイン



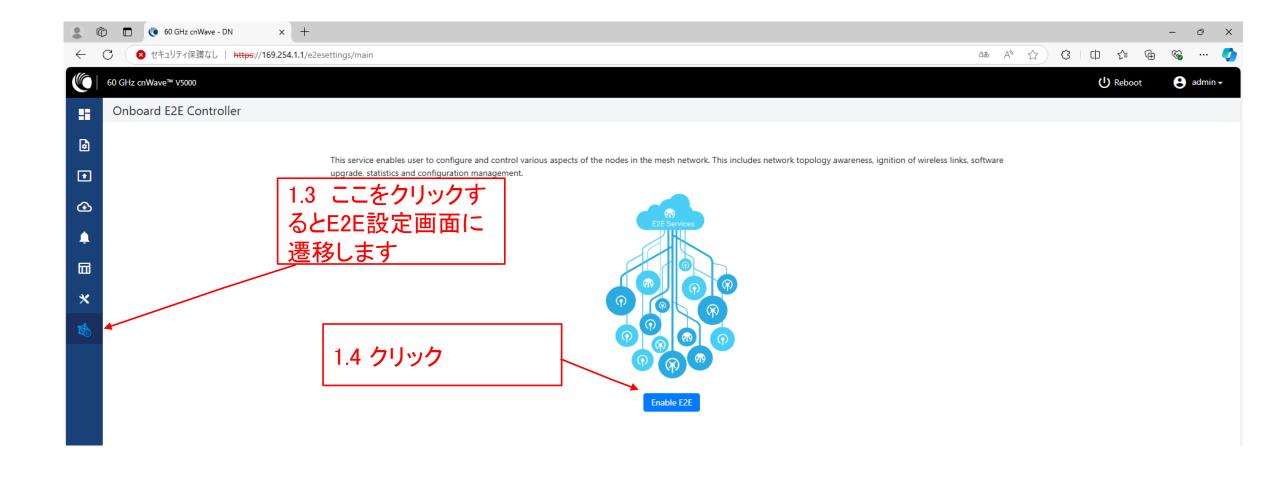
Step1(2) E2E でMaster局を登録





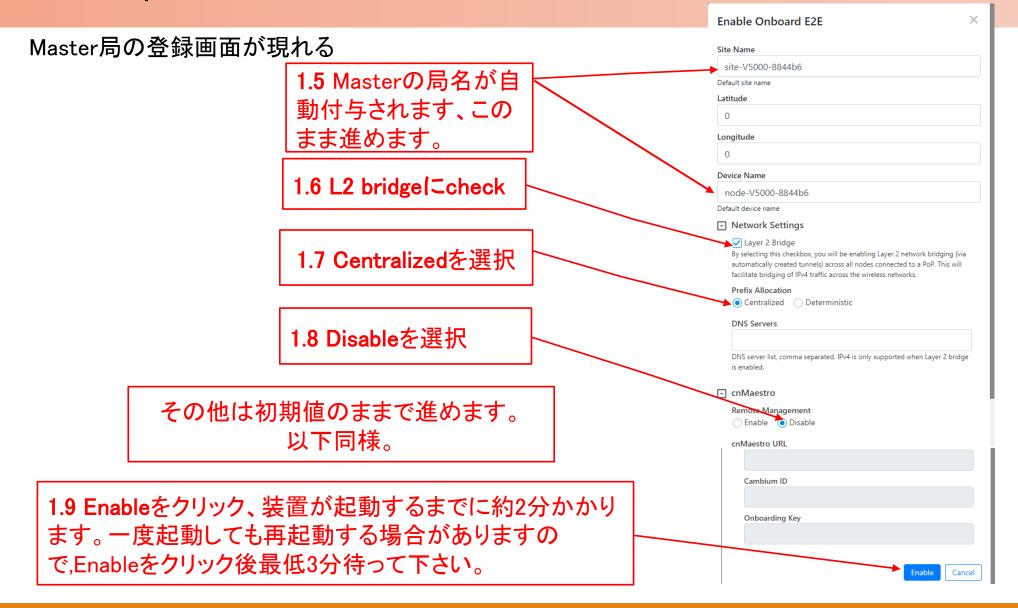
Step1(3) E2E でMaster局を登録





Step1(4) E2E でMaster局を登録





Step1(5) E2E でMaster局を登録

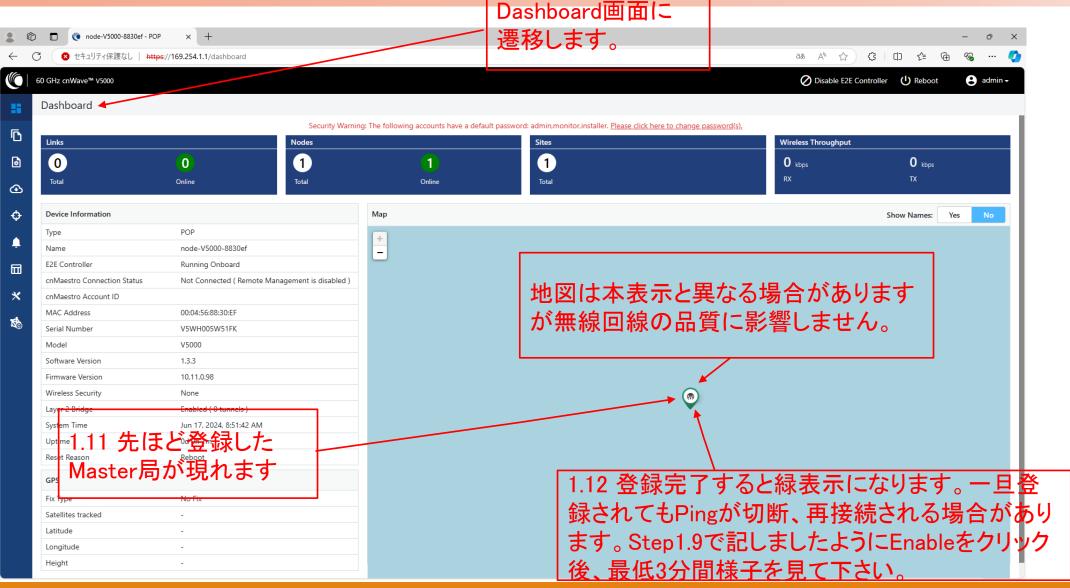


Pingが開通し、Master局のログイン画面が現れるので再ログインする



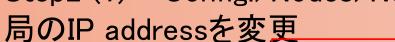
Step1(6) E2E でMaster局を登録

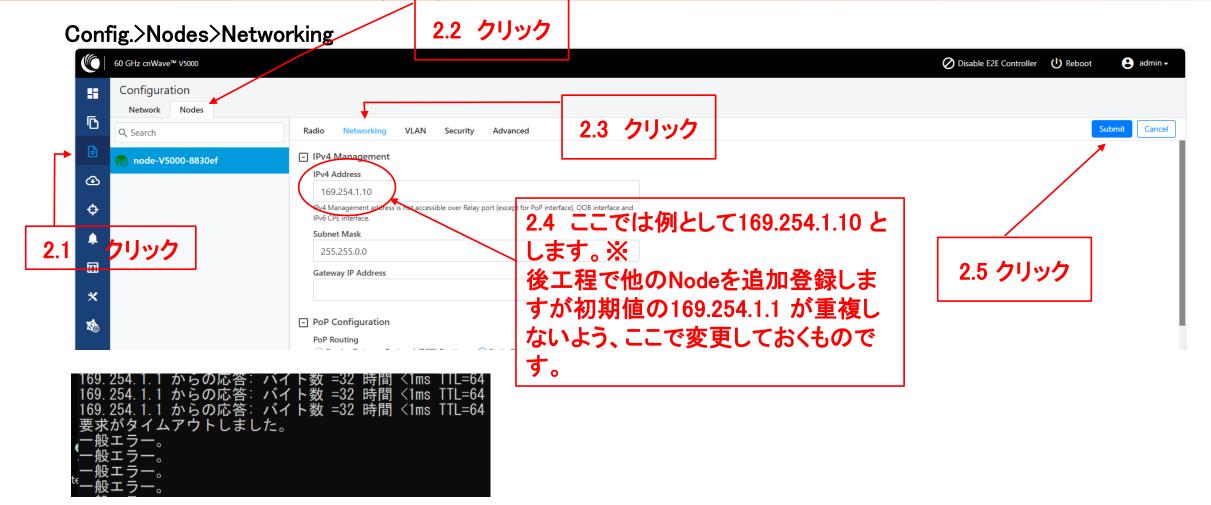




Step2 (1) "Config.>Nodes>Networking"でMaster





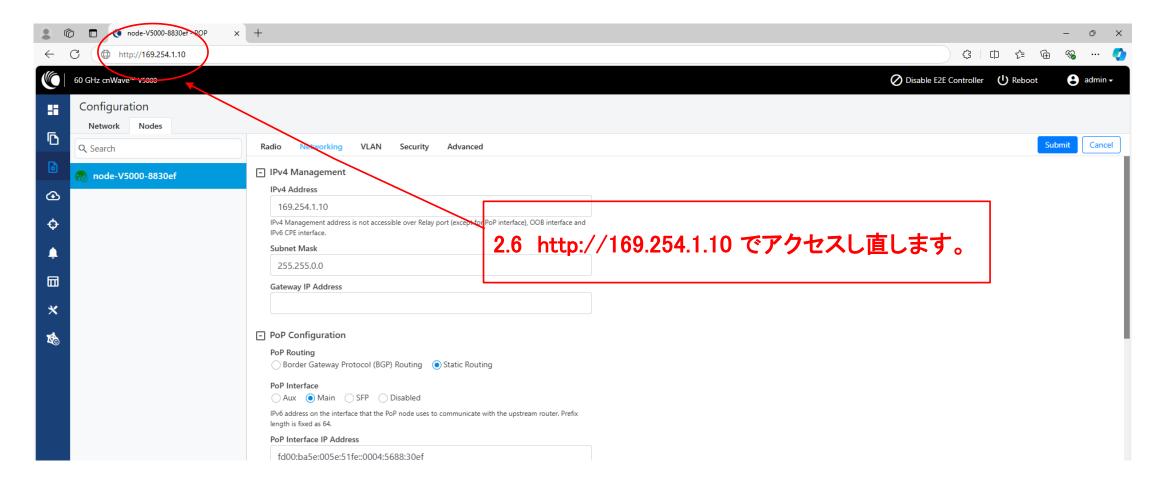


- ※1 IP addressを変更してSubmitをクリックした後、上のように変更前のPing疎通が不通になることを確認します。
- ※2 IPアドレスを変更した場合は、ブラウザのURLを新しいIPアドレスに変更する必要があります

Step2 (2) Master局のIP addressを変更

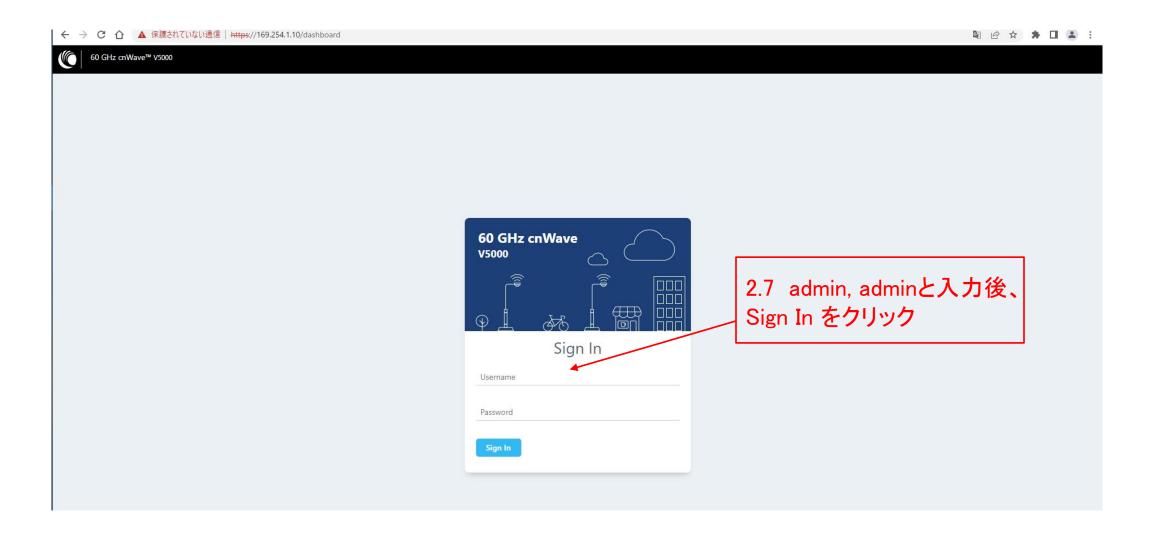


Config.>Nodes>Networking



Step2(3) Master局のIP addressを変更





Step3(1) "Config.>Network"でJapanを選択



Config.>Network>Basic



Step3(2) "Config.>Network"でCN Channel Re-scanをDisableに設定



Config.>Network>Radio

3.6 クリック

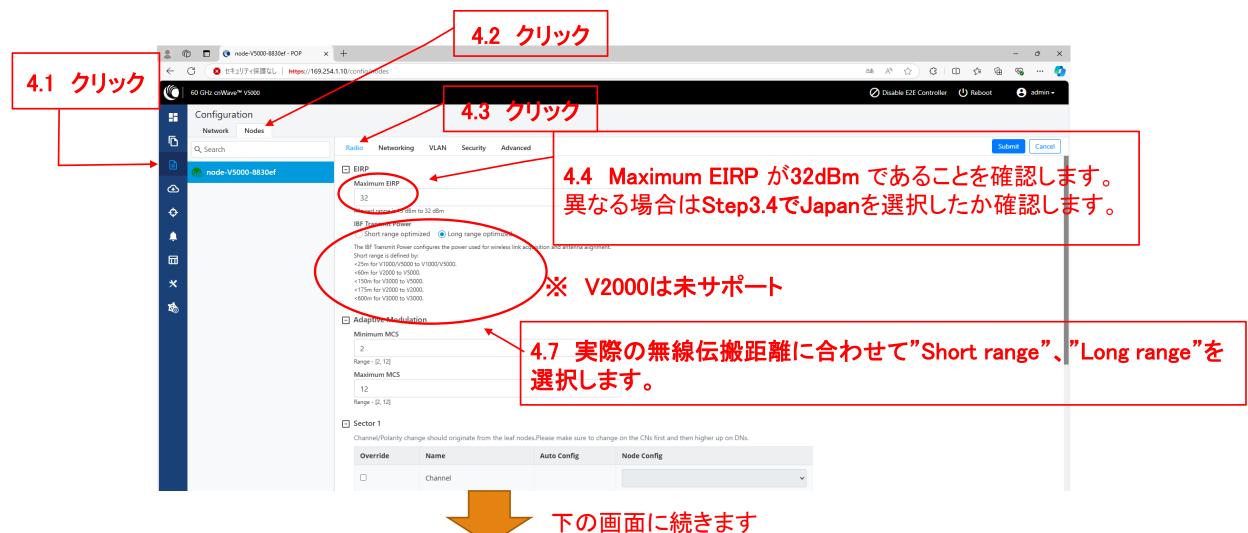


Step4(1) Master局のGPS同期を無効に設定

V5000の場合



Config>Nodes>Radio

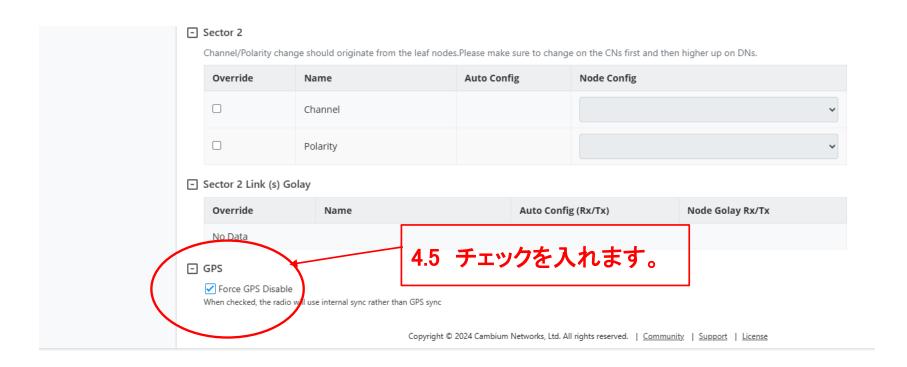


Step4 (2) Master局のGPS同期を無効に設定 V5000の場合



Config>Nodes>Radio

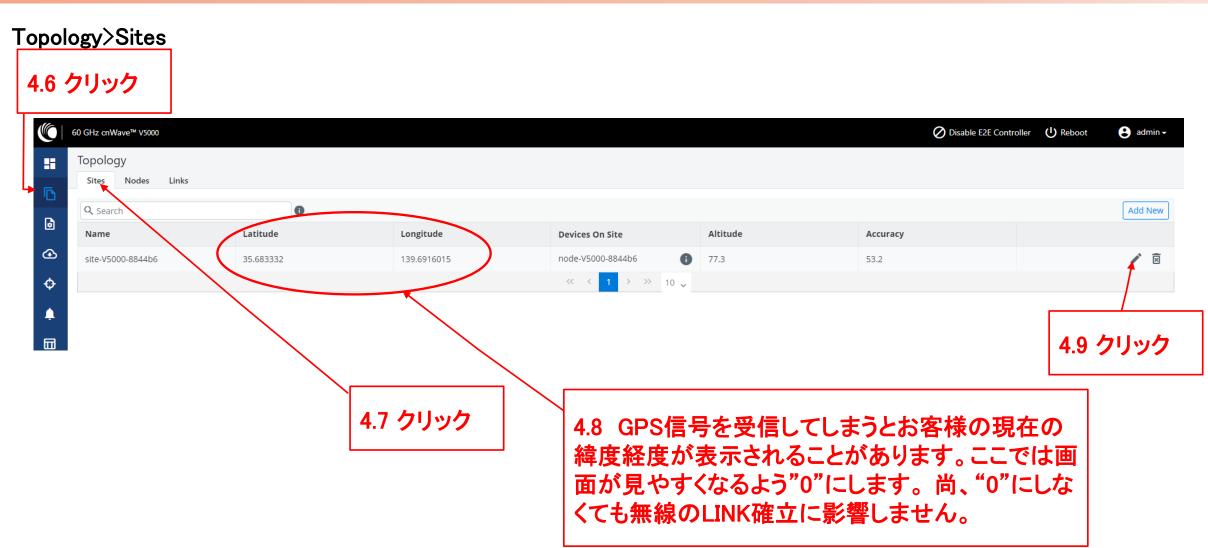






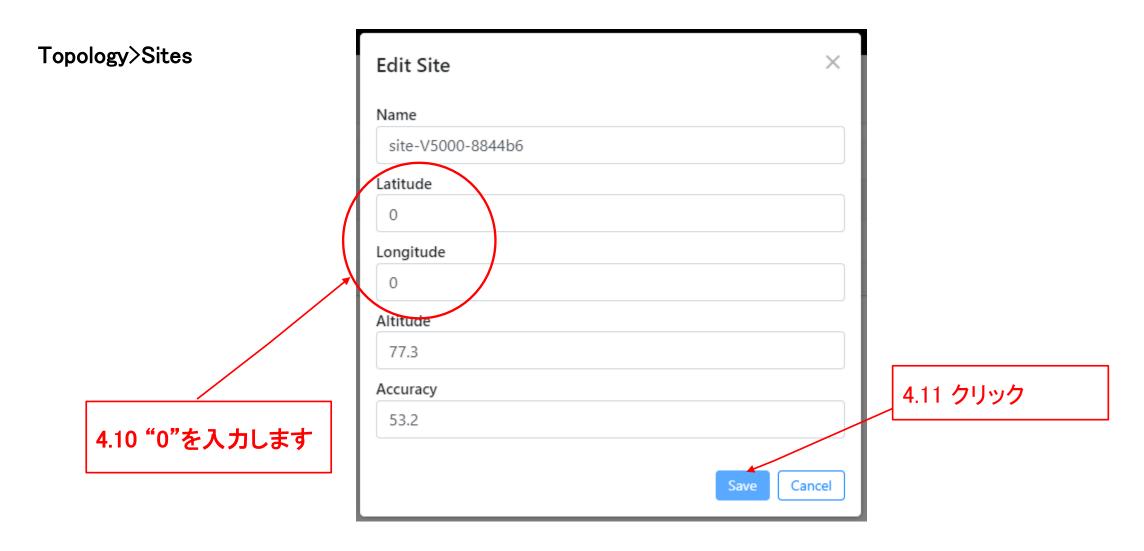
Step4(3) "Sites"でMaterの緯度経度を登録





Step4 (4) "Sites"でMasterの緯度経度を登録

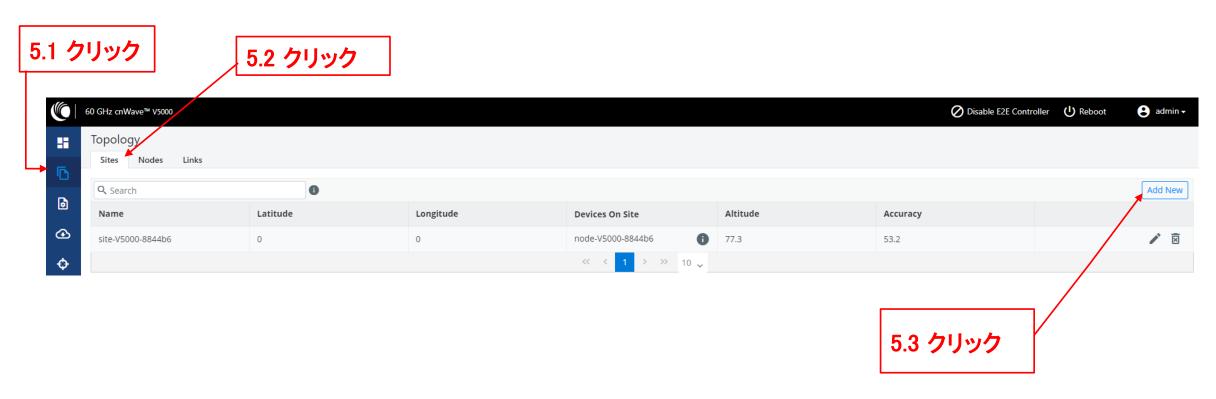




Step5(1) "Sites"でSlave1局を登録

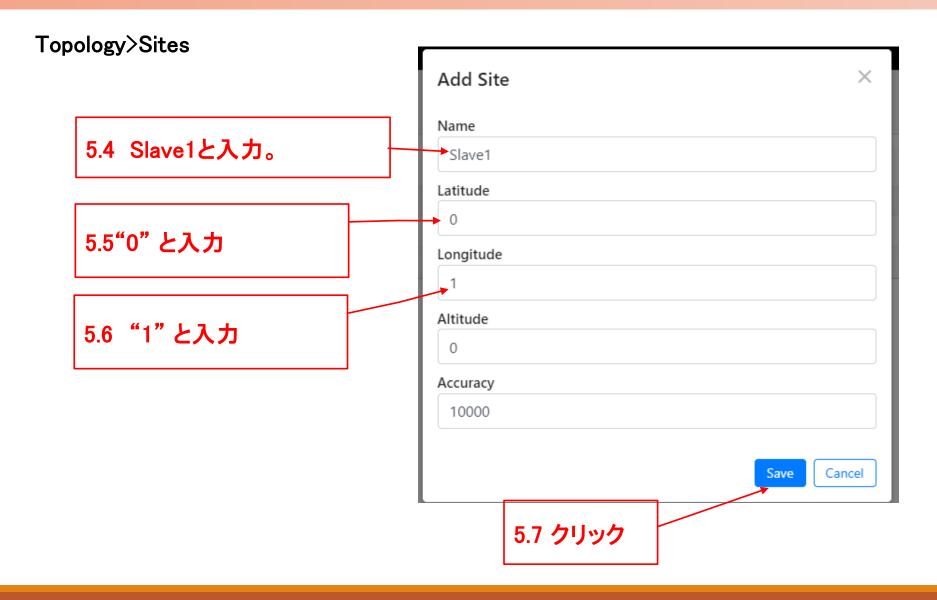


Topology>Sites



Step5(2) "Sites"でSlave1局を登録

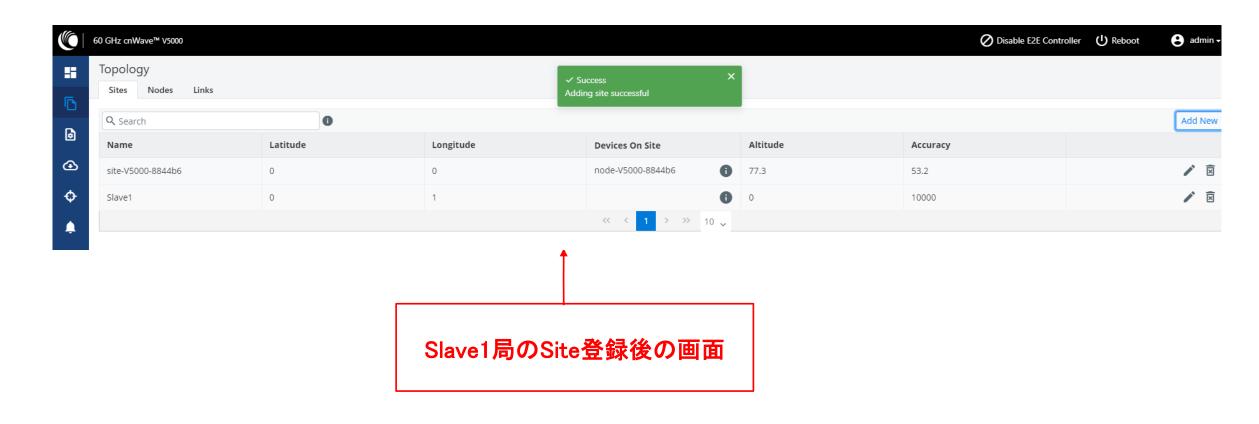




Step5(3) "Sites"でSlave1局を登録



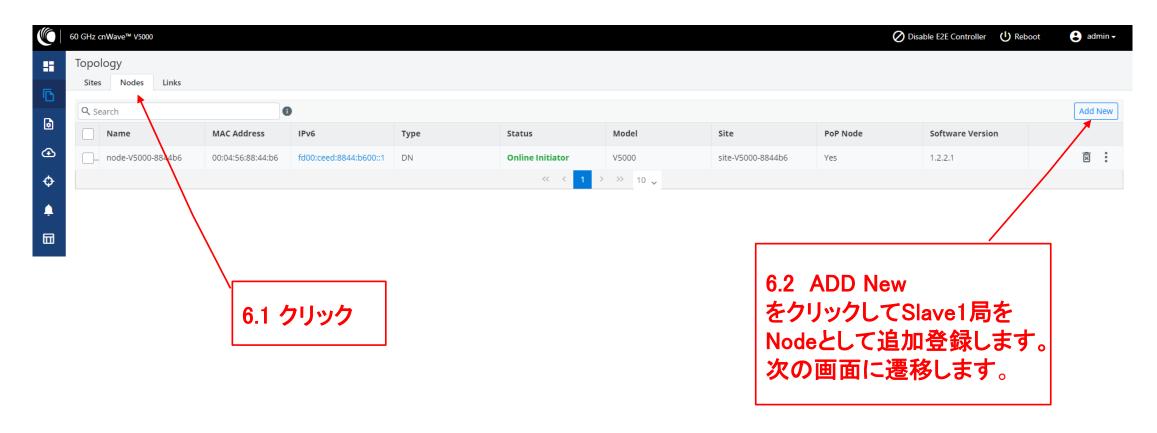
Topology>Sites



Step6(1) "Nodes"でSlave1局を登録

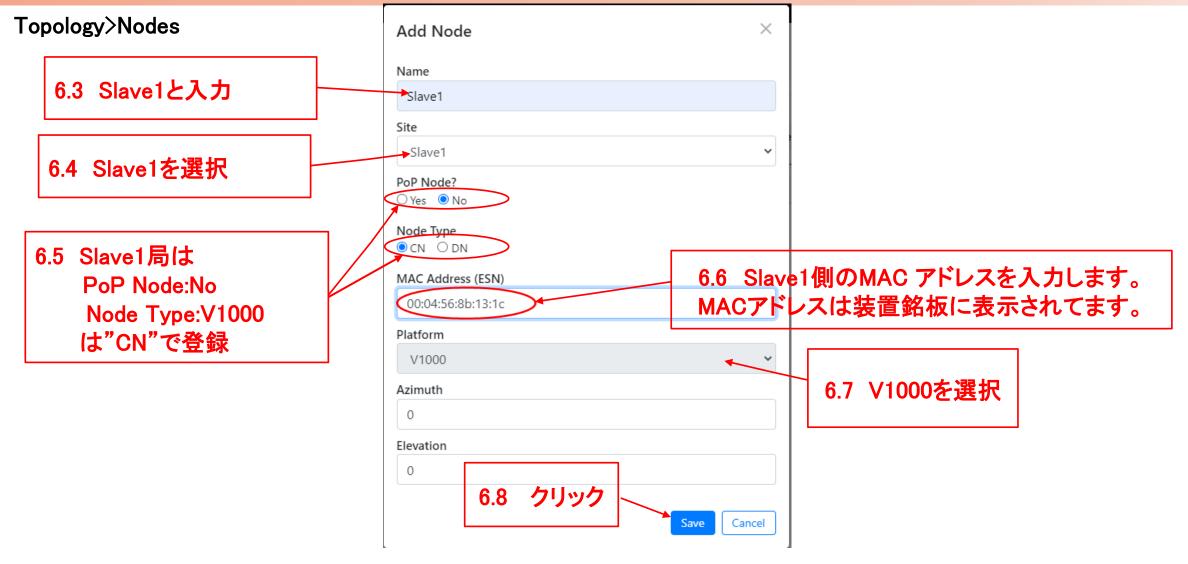


Topology>Nodes



Step6(2) "Nodes"でSlave1局を登録

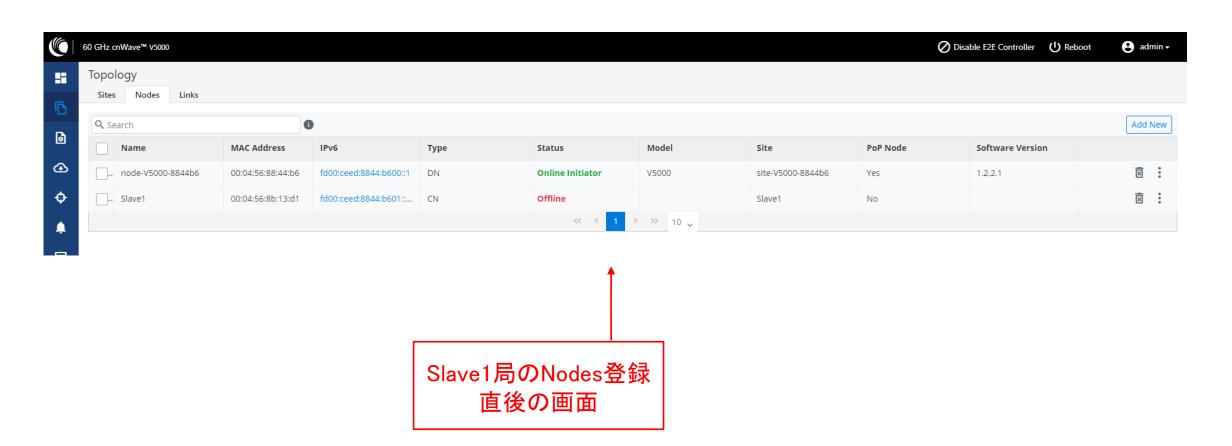




Step6(3) "Nodes"でSlave1局を登録



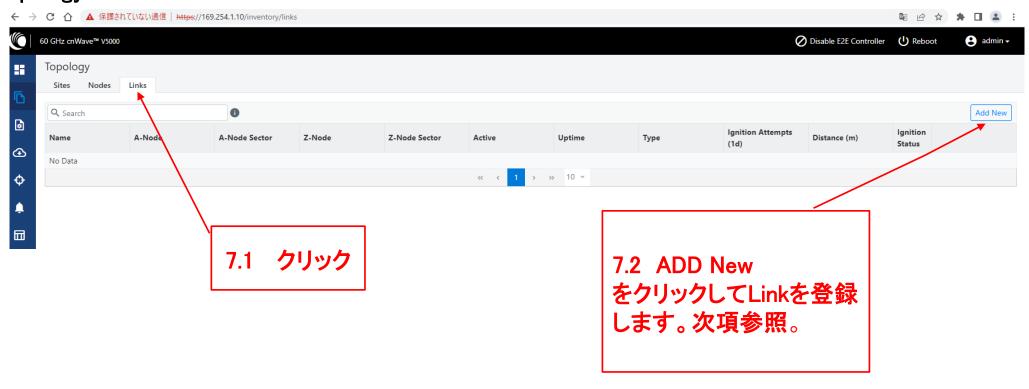
Topology>Nodes



Step7(1) "Links"でMaster-Slave1のLinkを登録

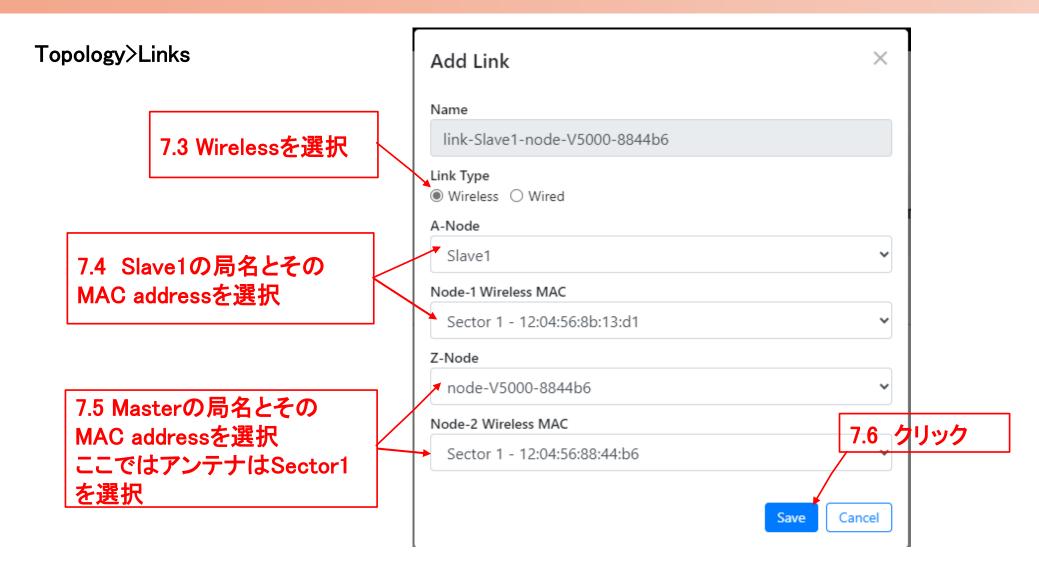


Topology>Links



Step7(2) "Links"でMaster(Sector1)-Slave1のLinkを登録

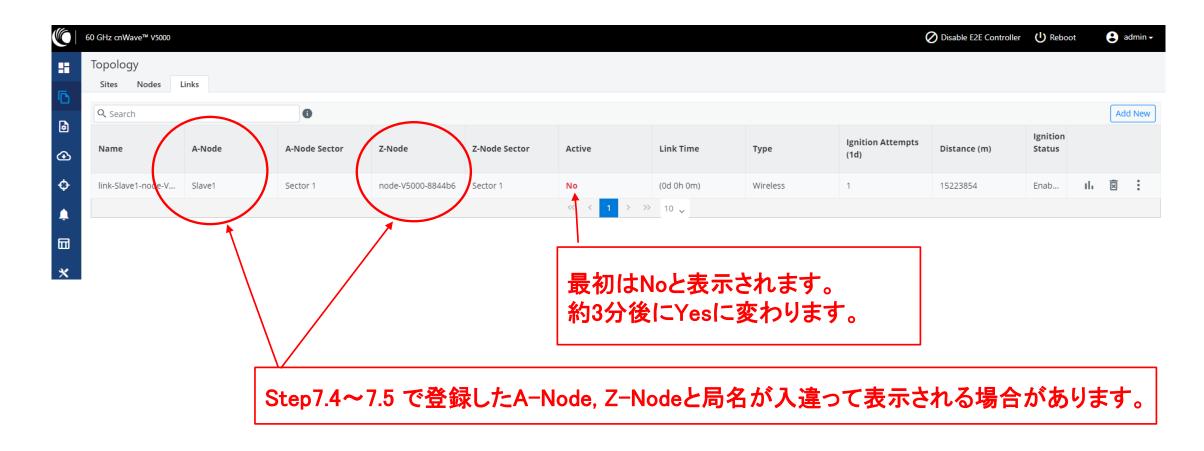




Step7(3) "Links"でMaster(Sector1)-Slave1のLinkを登録

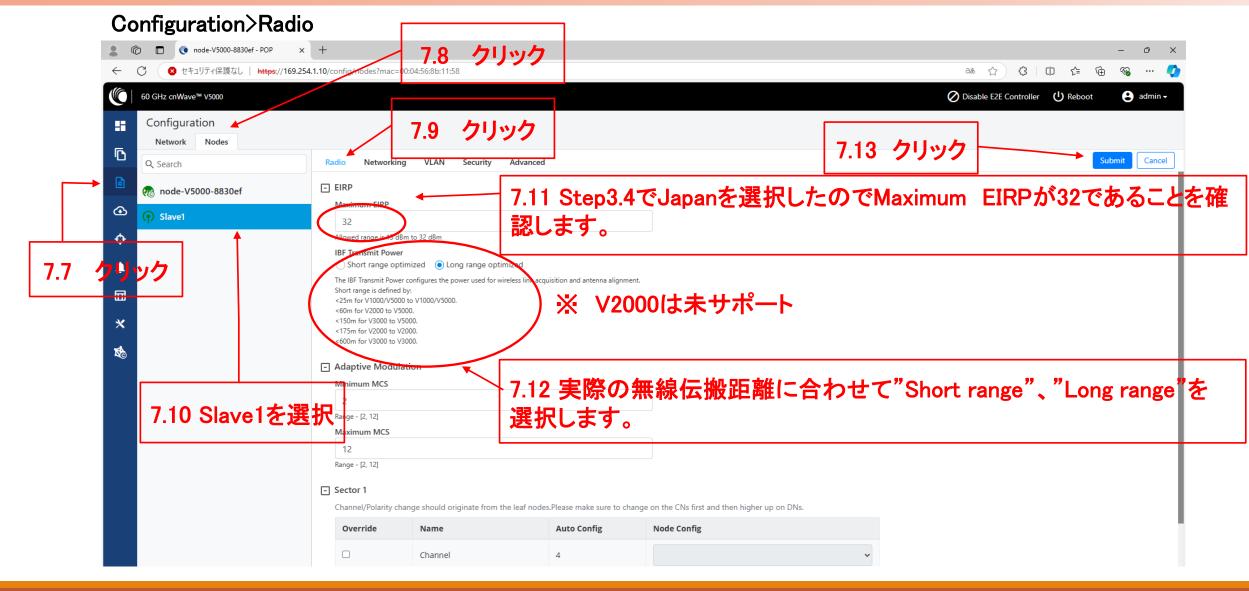


Topology>Links



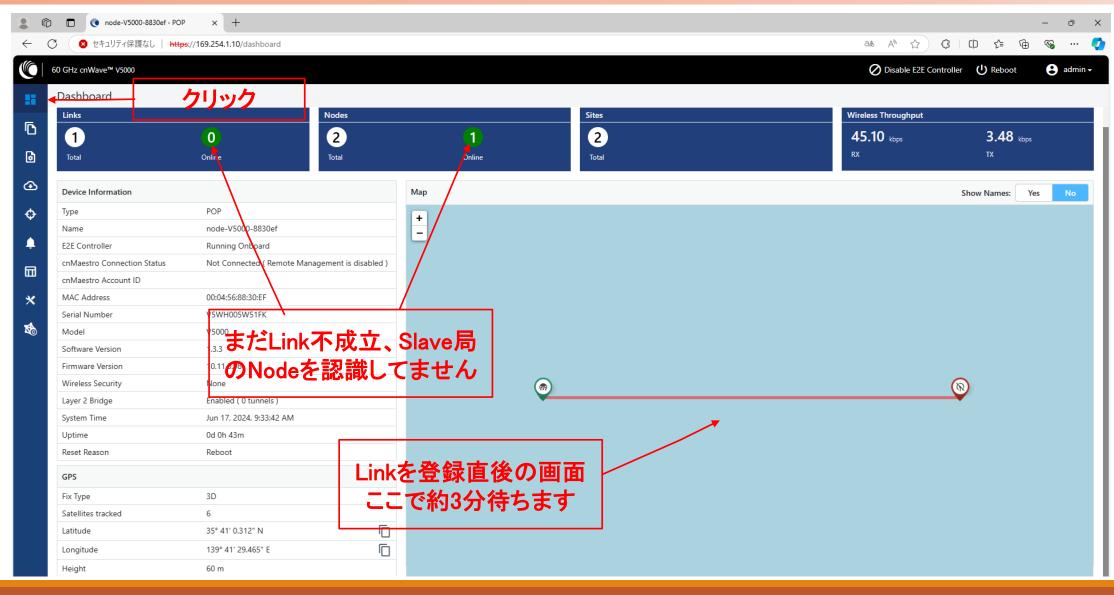
Step7(4) ConfigurationでSlave1のEIRPを確認





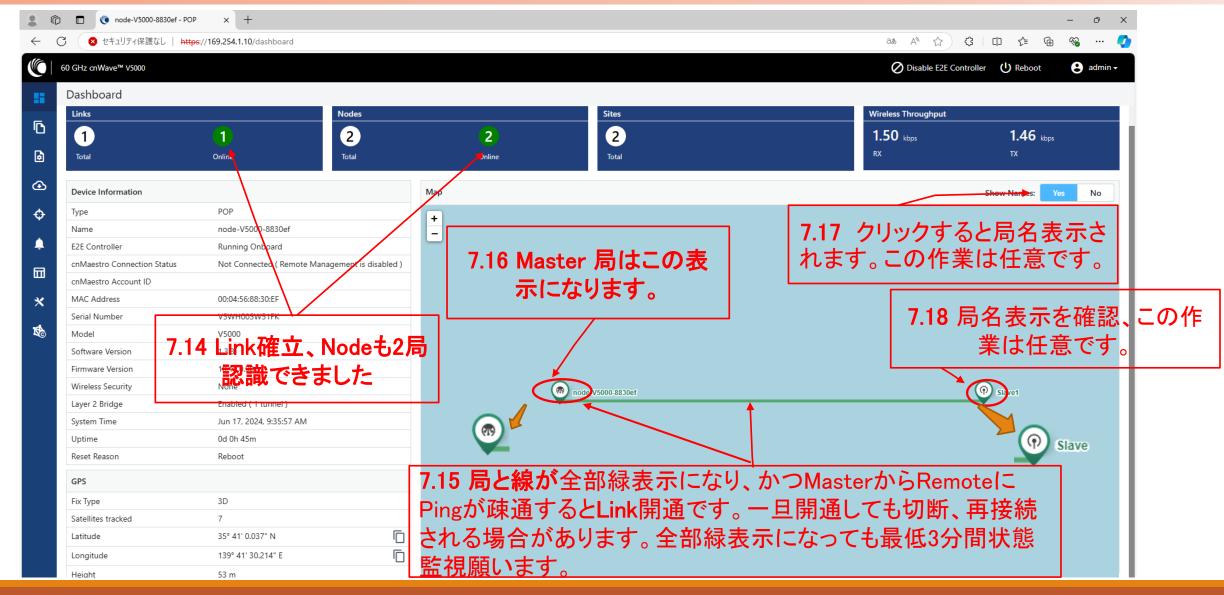
Step7(5) Master(Sector1)-Slave1のLink確立確認 Dashboard





Step7(6) Master(Sector1)-Slave1のLink確立確認 Dashboard

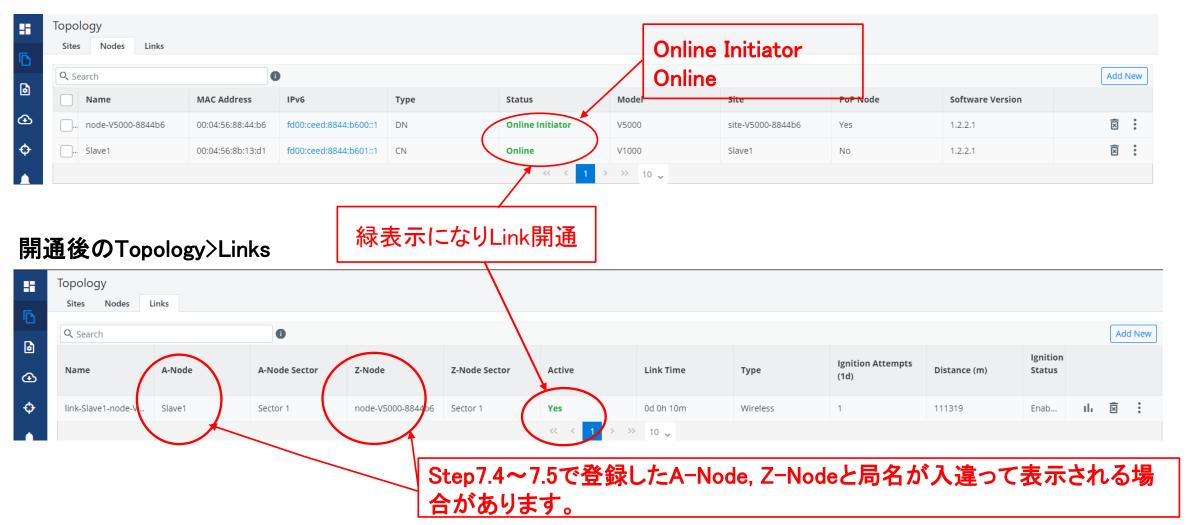




Step7(7) Master(Sector1)-Slave1のLink確立確認 Topology



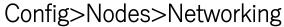
開通後のTopology>Node



Step8 Slave1局のIP address等を設定

Master局にログインした状態で設定します

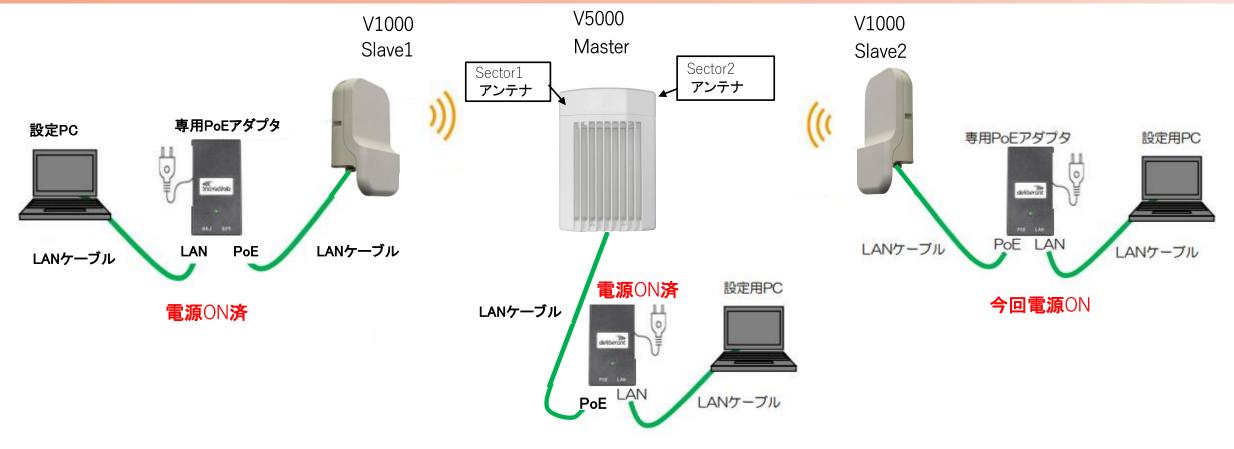






機器接続 Slave2





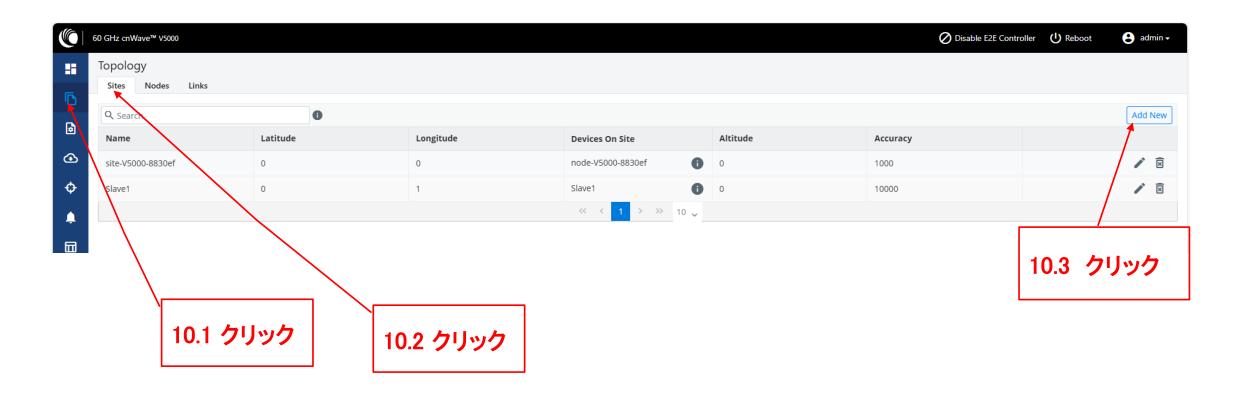
Slave2にPoEを接続し電源ONにします。

無線機の電源投入はLANケーブル接続後PoEの電源を投入して下さい。

Step10(1) "Sites"でSlave2局を登録

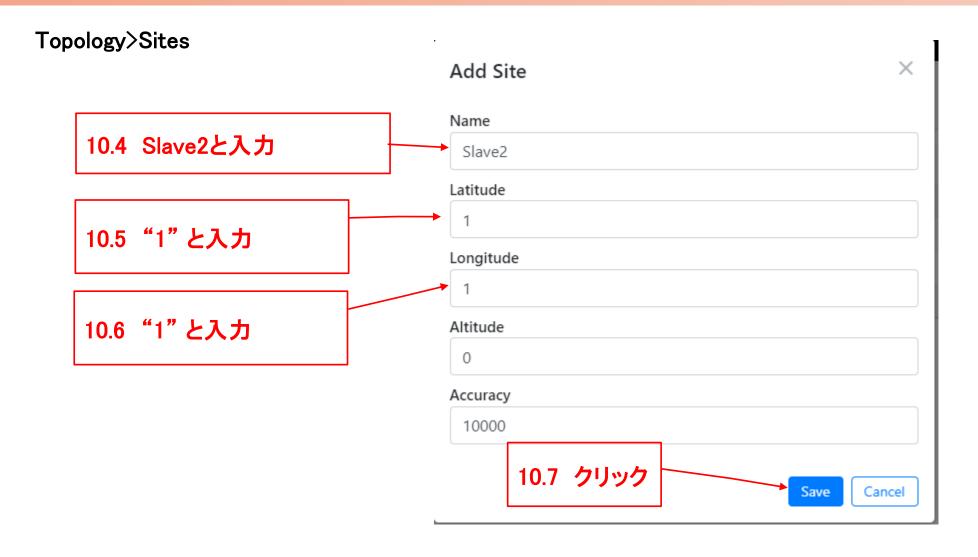


Topology>Sites



Step10(2) "Sites"でSlave2局を登録

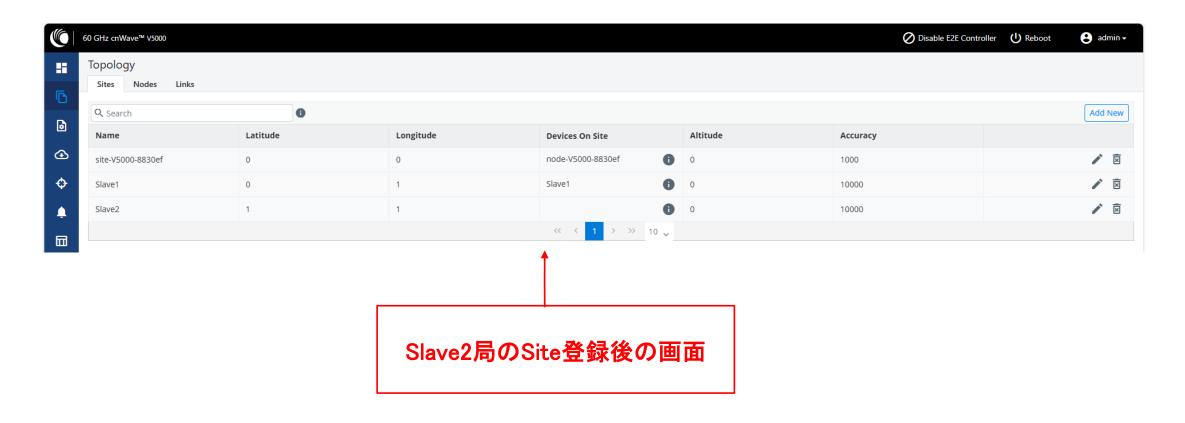




Step10(3) "Sites"でSlave2局を登録



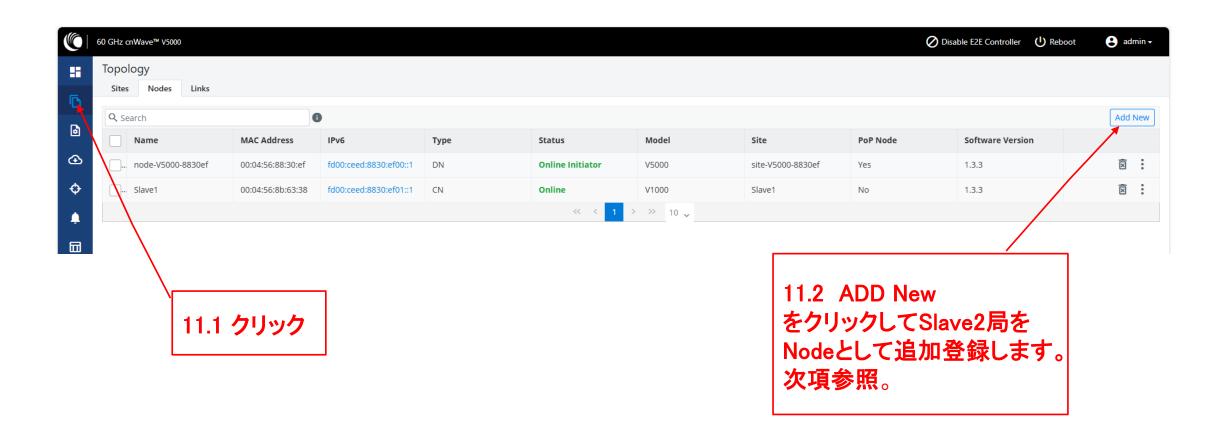
Topology>Sites



Step11(1) "Nodes"でSlave2局を登録

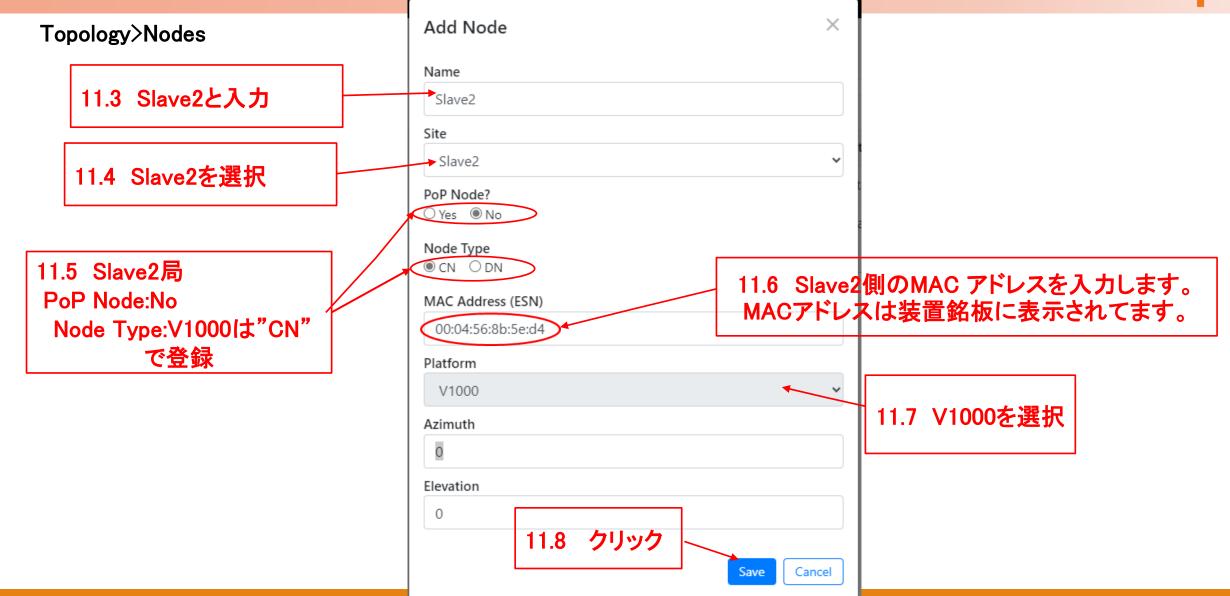


Topology>Nodes



Step11(2) "Nodes"でSlave2局を登録

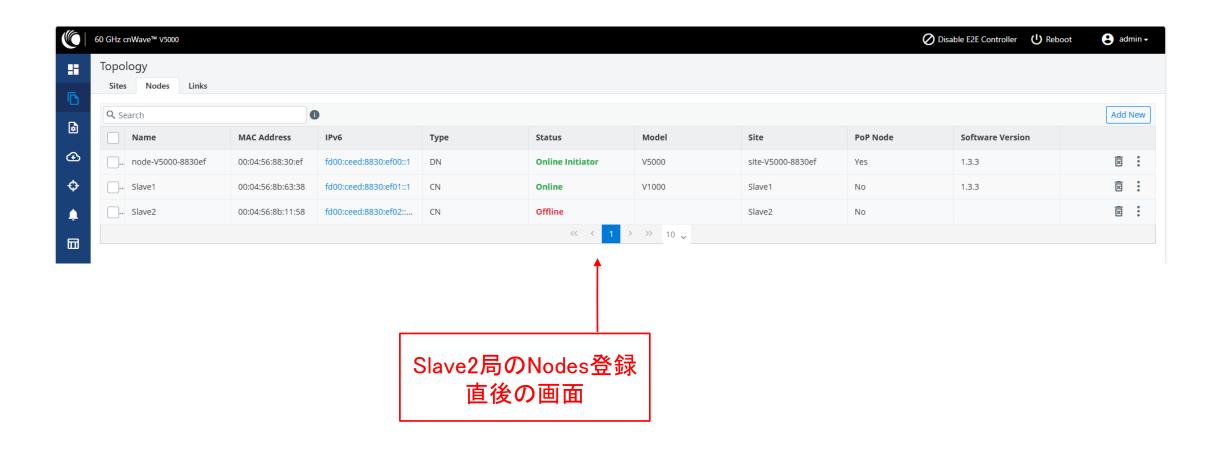




Step11(3) "Nodes"でSlave2局を登録



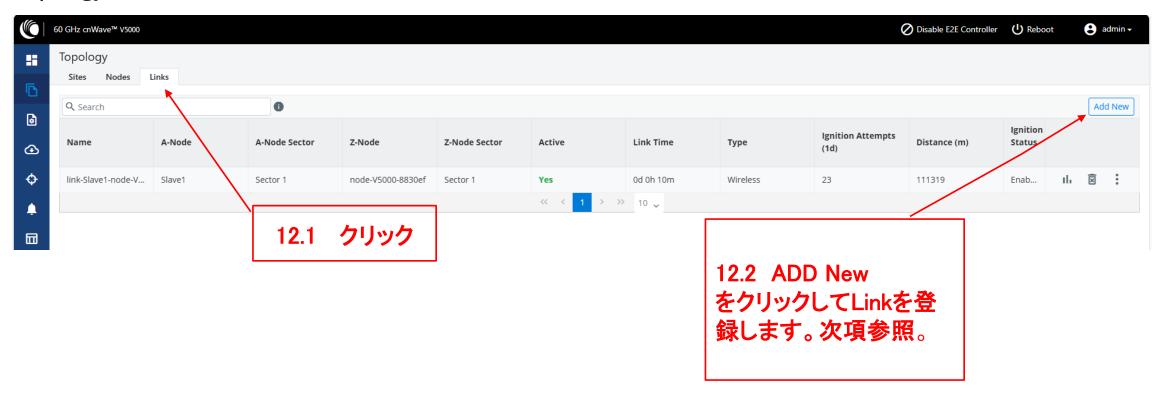
Topology>Nodes



Step12(1) "Links"でMaster-Slave2のLinkを登録

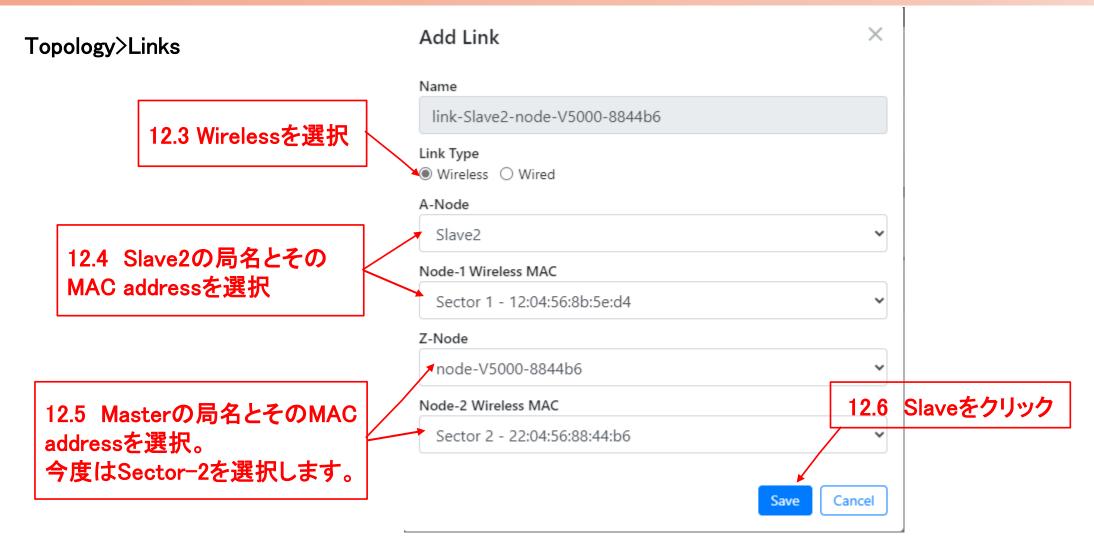


Topology>Links



Step12(2) "Links"でMaster(Sector2)-Slave2のLinkを登録

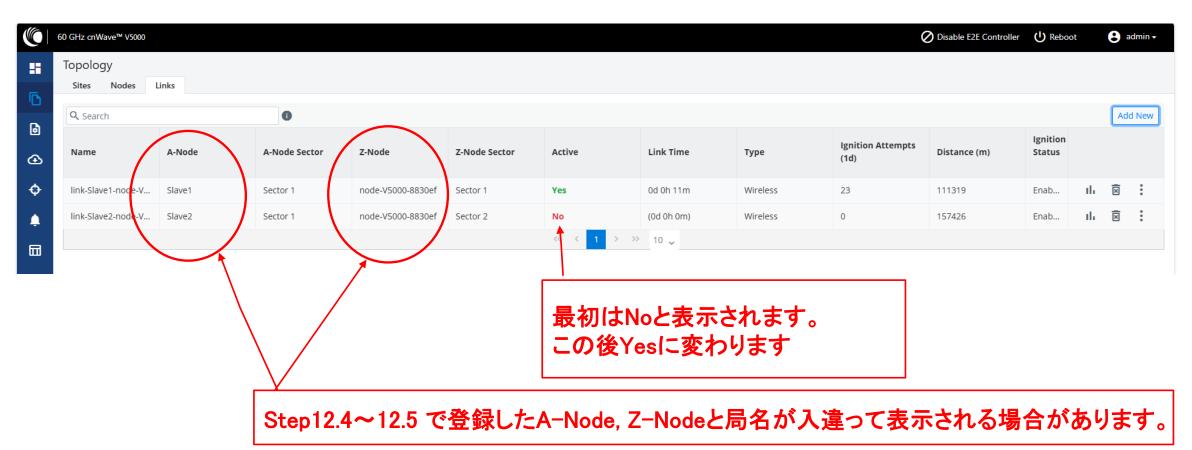




Step12(3) "Links"でMaster(Sector2)-Slave2のLinkを登録

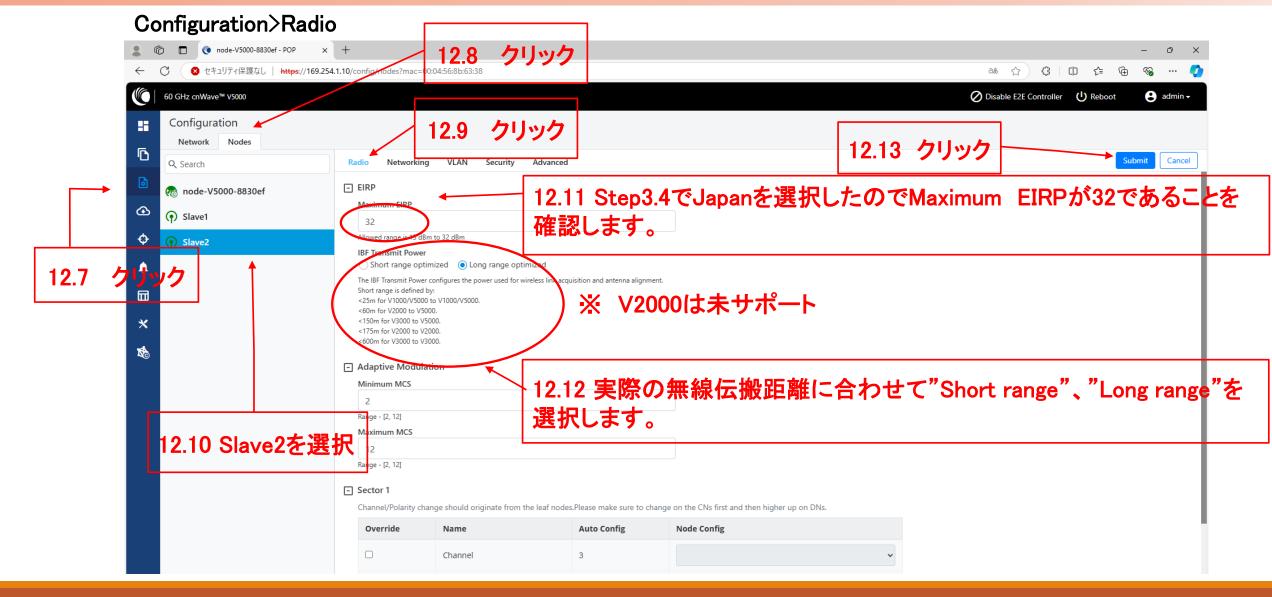


Topology>Links



Step12(4) ConfigurationでSlave2のEIRPを確認

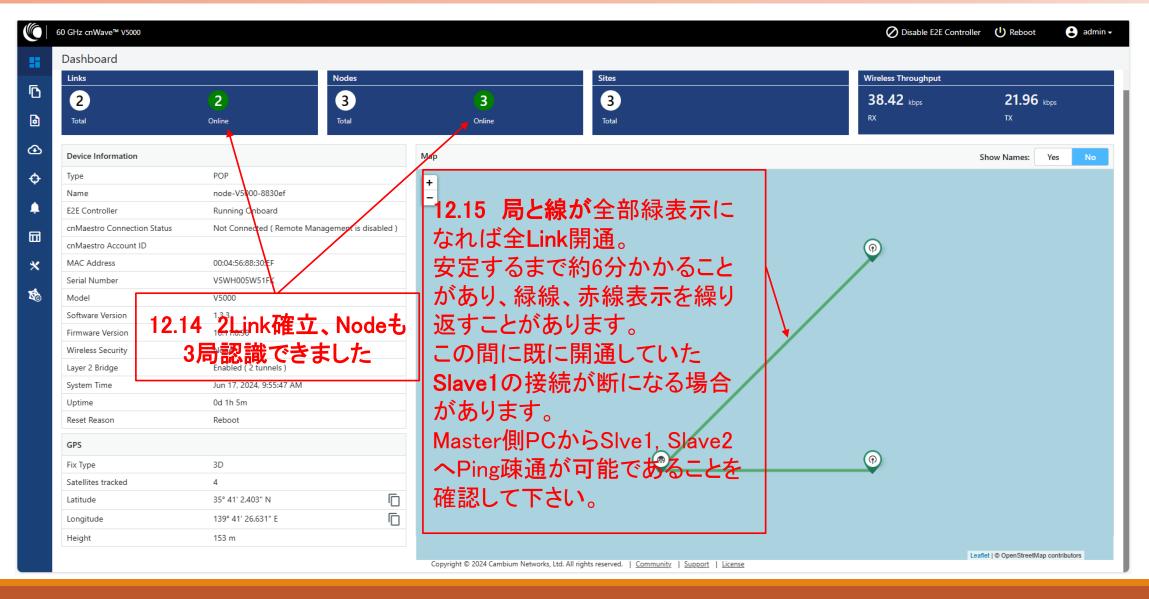




Step12(5) Master(Sector2)-Slave2 のLink確立確認 Dashboard

Slave3以降のNode追加も同様に進めます。





Step13 Slave2局のIP address等を設定

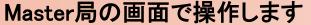


Master局の画面で操作します



Step14 無線チャネルの変更 初期値2→4に変更できる事を確認します。

Master局にログイン後Slave2の無線チャネルを変更します。



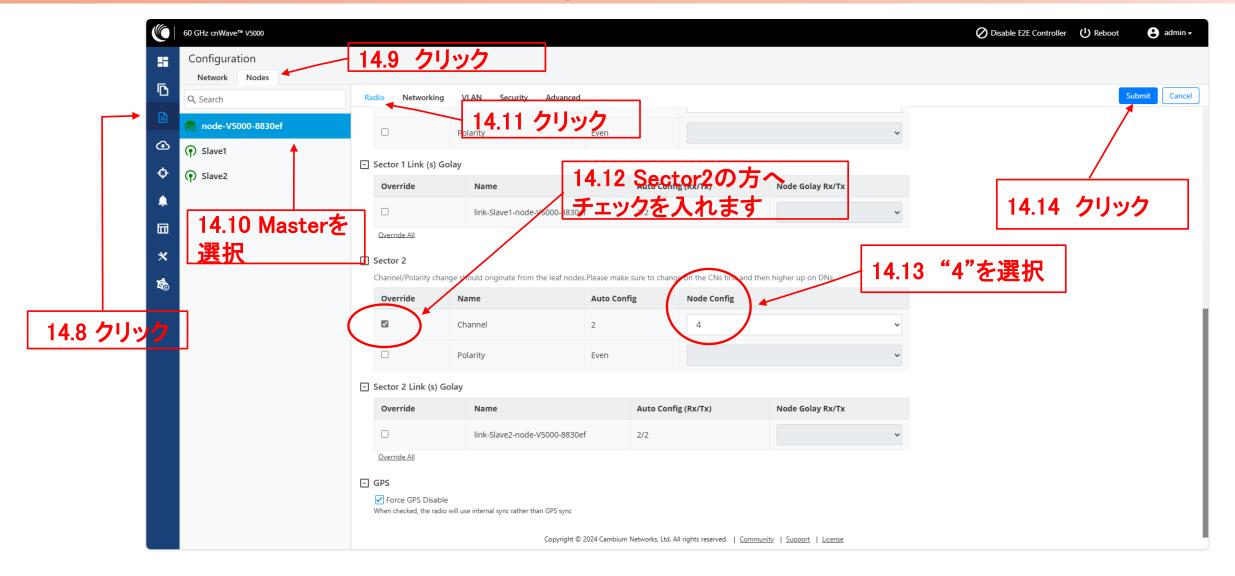




Step14 無線チャネルの変更 初期値2→4に変更

HYTEC INTER Co.,Ltd.

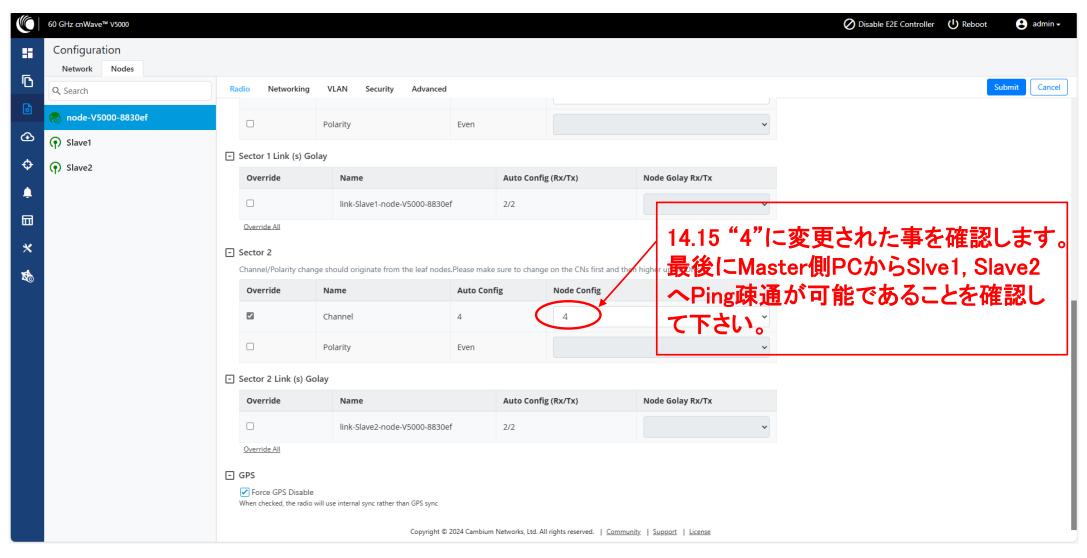
次にMaster局の無線チャネルを変更します。Config>Nodes>Radio



Step14 無線チャネルの変更 初期値2→4の変更後のMaster局の画面



Config>Nodes>Radio

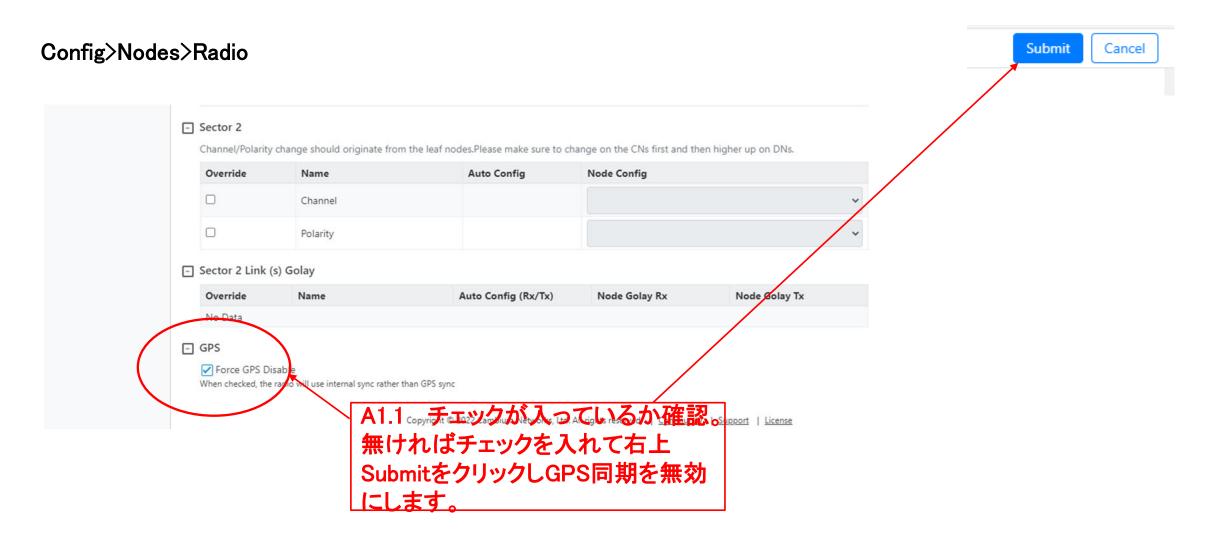




- 1.電源OFF/ON時のご注意
 PoE の電源をOFFの後、5秒以内に電源をONにするとRecovery Modeとなり起動に時間がかかる場合があります。続けてご使用の場合は電源をOFFの後、10秒以上待ってから電源をONにしてください。
- 2.周波数等の変更はMaster局の画面上でSlaveから先に設定 無線の周波数チャネル変更はMaster局の画面でSlave局から先に行い、次にMaster局自身の設定 を行い同一チャネルとしてください。異なるとLINK確立しません。
- 3.Link確立しない時 次頁の補足1を参照願います。

補足1 Link接続しない時 (1)Master局のGPS無効の確認





補足1 Link接続しない時 (2) 電源OFF/ON します。



A1.2 GPS無効にして6分経過しても改善しない場合は、全局の電源OFFし10秒後ONして下さい。20分経過してもLink接続しない場合は、対向局の電源をOFFしてFactory Resetします。これをMaster, Slave両方行い、本マニュアルのStep1からやり直して下さい。

Master局の電源をONしたままSlaveをResetすると、Reset完了後、MasterからSlaveに直ちに設定が上書きされてSlaveが初期状態に戻らない場合があります。これを避けるため対向局の電源をOFFしてResetします。

補足2 Master局、Slave局の見分け方





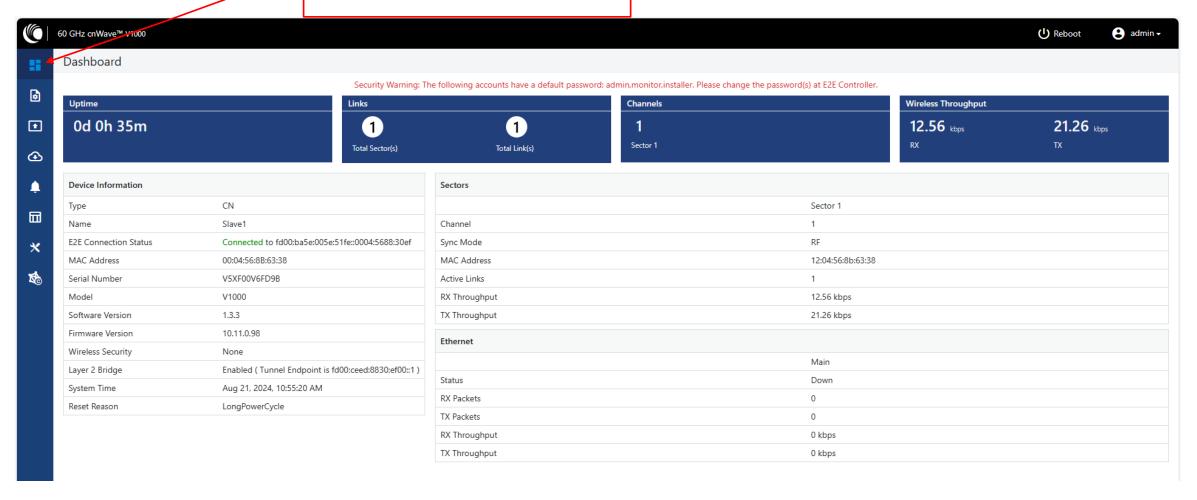


補足2 Master局、Slave局の見分け方

Dashboard が以下の画面だとSlaveです。

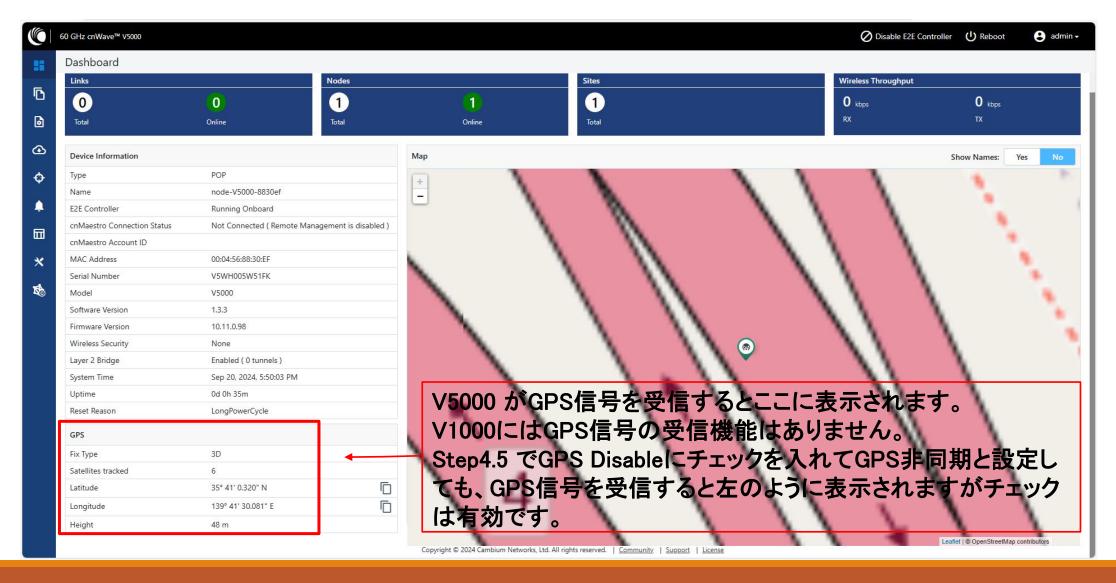






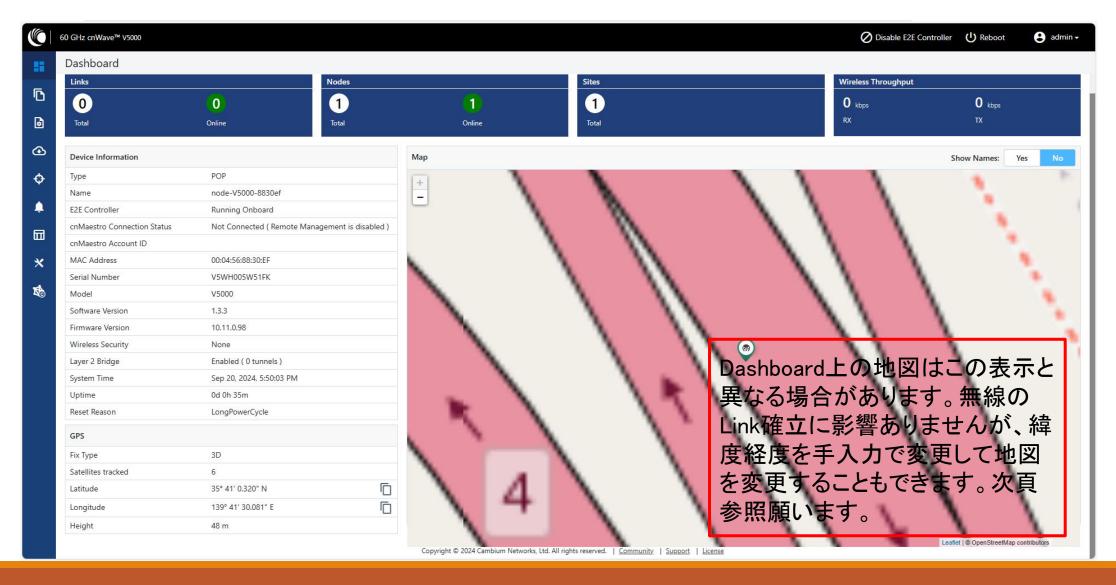
補足3 GPS信号受信時の表示





補足4 Dashboard上の地図表示





補足4 Dashboard上の地図表示



